

# AI応用の最先端と今後の展望

近年、車両の自動運転や家事・介護用ロボットなど、AI(人工知能)を中心としたICTの発展はめざましく、少子高齢化時代を迎え、深刻な労働力不足を解消する手段として、農業、製造業、医療、金融、教育など、さまざまな分野への利活用の拡大が予想されている。一方で、AIの適用化拡大に伴うリスクも多々、懸念され、検討すべき課題も多い。

公益社団法人日本工学アカデミー九州支部では、次代を担う優秀な若きエンジニアの育成を求めて、毎年、九州沖縄地区の高校や高等専門学校の学生の皆さんを対象とした出張講演会を実施している。今回は、上記のような背景を下に、鹿児島高専において、「AI応用の最先端と今後の展望」をテーマとして、講演会を開催するものである。

## ～プログラム～

◆ 9:00～9:05  
開会挨拶

鹿児島工業高等専門学校長 氷室 昭三氏

◆ 9:05～9:20  
主催者挨拶

独立行政法人国立高等専門学校機構理事長 谷口 功氏  
(日本工学アカデミー監事)

◆ 9:20～10:00  
講演(1)

### 「画像情報学とAI」

九州大学主幹教授、大学院システム情報科学研究科

数理・データサイエンス教育研究センター長 内田 誠一氏



◆ 10:00～10:40  
講演(2)

### 「AIと共生する時代に生きる人になるために」

木村静財技術株式会社 取締役CIO

AI応用開発センター長 橋爪 康知氏



◆ 10:40～10:45  
閉会挨拶

大分工業高等専門学校長 日野 伸一氏  
(日本工学アカデミー九州支部副支部長)

日時 令和 2年 1月 15日 (水) 9:00～10:45

会場 鹿児島工業高等専門学校 第一体育館

対象 1、2年生 (400名)

主催：公益社団法人日本工学アカデミー九州支部  
後援：独立行政法人国立高等専門学校機構  
九州工学教育協会